

# 認知症ケアの標準化に関する研究 (認知症ケアレジストリ研究) ～目的と意義～

認知症介護研究・研修センター

# 研究の位置づけ

適時適切な医療・ケアをめざした、認知症の人等の  
全国的な情報登録・追跡を行う研究  
(国立長寿医療研究センター) H28/4/1~H33/3/31

認知症ケアに関する  
登録班

認知症ケアの標準化に  
関する研究

認知症ケアレジストリ  
研究(3センター)

普及・推進の体制構築

# 認知症ケアの標準化に関する研究 (認知症ケアレジストリ研究) の目的

- BPSDに対する介入手法の  
類型化、関連要因、介入方法、手順の明確化  
(認知症の人の長期間追跡調査)
- BPSD等の軽減に資するケアのエビデンス構築  
(BPSDスポット調査)
- データベースの提供による  
国内の認知症ケア研究の促進

# 本研究における 認知症ケアの標準化とは？

どのような状態の認知症の人に対し、  
どのようなケアを行うと、  
その状態が改善し、QOLが高まる確率が高いのか、  
認知症の人に対するケアとその結果を大規模に収集し、統計解析することにより明らかにすること。  
※質の高い認知症ケアを科学的に証明する。

前提：パーソン・センタード・ケア、個別ケア

# 認知症ケアの標準化の意義

- ケアの優先順位をつけるための指針となる。
- 認知症の人の状態に応じ、  
統計的に有効な確率の高いケアから実施できる。  
⇒効果的に（短時間で・少ない負担で）  
BPSD等が軽減できる可能性が高まる。
- 優先順位の高いケアを実施後、  
良い影響がなければ、次に優先順位の高いケア  
を実施するという考え方で活用できる。
- 認知症ケアの標準化は、  
認知症の人本位の個別ケア推進のための基盤作り。